

セイフティレコーダがお求め易くなりました！！

平成15年度税制改正から IT投資促進税制 について

本年年初に決定された平成15年度税制改正により平成15年1月1日から平成18年3月31日までの間にIT関連設備の取得等をして事業のために供した場合の特別償却もしくは税額控除制度が創設されました。

IT投資促進税制の概要

	対象企業	ハードウェア	ソフトウェア	減税措置	税制対象品目
買取の場合	資本金 3億円超	600万円以上		特別償却 取得価格×50% または 税額控除 取得価格×10%	電子計算機 デジタル複写機 ファクシミリ ICカード設備 デジタル放送受信機
	資本金 3億円以下	140万円以上	70万円以上		
リースの場合	資本金 3億円以下のみ可	200万円以上	100万円以上	税額控除 リース総額×10%	IP電話 ルーター等 デジタル回線接続装置 ソフトウェア

節税効果シミュレーション < システム価格640万円 ~ SR30台+解析ソフトの場合 >

		初年度	2年目	3年目	4年目	合計	実質コスト		
		買取	支出	648.6	6.5	4.3			2.2
	留保利益	57.6	57.6	57.6	57.6	230.4			
リース	支出	192.0	192.0	192.0	192.0	768.0	460.8		
	留保利益	76.8	76.8	76.8	76.8	307.2			
買取 50%特別償却	支出	648.6	6.5	4.3	2.2	661.6	431.2	初年度の留保利益最大	
	留保利益	128.0	34.1	34.1	34.1	230.4			
買取 10%税額控除	支出	648.6	6.5	4.3	2.2	661.6	367.2	実質コストが最も低い	
	留保利益	121.6	57.6	57.6	57.6	294.4			
リース 10%税額控除	支出	192.0	192.0	192.0	192.0	768.0	414.7	初年度の実質コストは約70万円	
	留保利益	122.9	76.8	76.8	76.8	353.3			
計算根拠	各年度の支出	210万円×資産残存率×1.5%				買取の場合、初年度に取得金額を算入			
	各年度の留保利益	買取の場合、減価償却費×40%		リースの場合、リース料金(経費算入額)×40%					



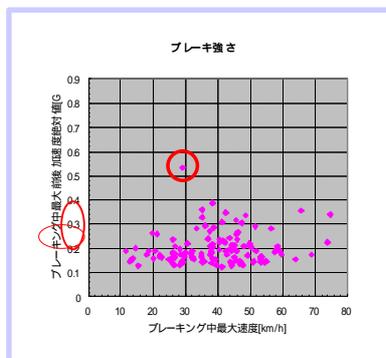
散布図から分かる運転のヒヤリ・ハット

散布図上にプロットされているポイントから、どのような運転状況であったかを読み取る方法をこのコーナーでシリーズとしてご紹介をさせてもらっております。

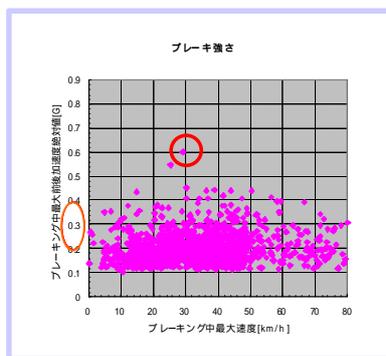
第2回目は、ブレーキ診断での速度に応じたブレーキ操作（ブレーキ強さ）についてです。

速度に応じたブレーキ操作の散布図では、「**運転挙動が右側の上の方にプロットされると、速度が出ている時に急ブレーキをかけたということになり、大変危険な運転操作**」ということになります。そのような場合、ドライバーさんはかなりヒヤリとされたこと、と思われます。

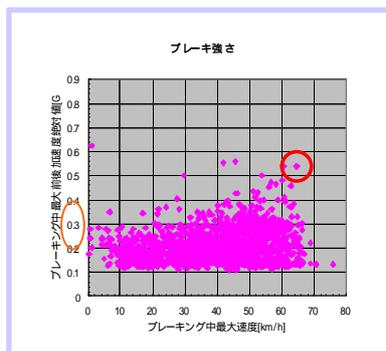
下記の事例は、速度は30 km/h 前後と50 km/h 以上の速度で、強めのブレーキを踏んだ時のヒヤリ・ハットです。この散布図上では、速度帯に関係なく縦軸（前後加速度）が 0.3 G 以下になるような運転操作を目標にしてください。



* 埠頭を走行中建物の影から大型車が出てきてハッとブレーキ



* 左側の路地から乗用車が出てきてハッとブレーキ



* 見通しのよい直線道路60 km/hを越え走行、左側の路地から乗用車が出てきてハッとブレーキ

荒い運転を避け、安全と輸送品質の確保！

～ SR (セイフティレコーダ) + DVR (映像機器) 一体型導入 ～

今回セイフティレコーダを映像付で導入しましたが、導入きっかけとなりましたのは、デジタコより細かいデータが取れることと映像が取れることに注目したからであります。また、地図とのリンクができておりますので、速度超過をどの場所でしたかということも一目瞭然に判るという点も決断のポイントでありました。SR + DVRとデジタコを併用して夫々の適性にあった使い方で運行、運転の状況を診断するよう使い分けております。

ドライバーの入れ替わりが激しく、新人運転手を受け入れざるを得ませんが、新人運転手が独り立ちできるまでSRを活用しております。一方では、運転の荒い運転手は、どこにもおりますが、彼らにもSRを使わせて反省させるようにしております。

DVRをつけてから10日目を過ぎるころから、日頃の運転の特性、クセが出てくるのがわかりましたので一人のドライバーに2週間続けて使用しております。

映像を見ながらドライバーと面談を行うことにしておりますが、映像を見たドライバーは一様に驚きます。特に事故を起こしたドライバーにDVRを使用した安全教育を行うと事故を起こさなくなることがはっきりしてきております。同時に、SRの持つ運行管理の機能を使って速度を遵守させることに利用しております。

当社は、食品を運んでおりますので、輸送品質の維持を日頃から心がけております。積荷を傷めることを避けるために急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルは避けなけれ



ばなりません。このことは、車両運行に伴います安全はいうまでもありませんが、積荷を傷つけないという品質保持の視点から、荒い運転を避けなければならないという使命を帯びております。

適正な運転は、ISOの認定を取得した企業として当然のことであり、その結果は、燃費節約の1つとしても現れてきております。

コーヒーブレイク



- この7月からトラック運送事業者の安全性評価事業というのがスタートしたね
- 事業者の安全性を正しく評価し、認定し、公表するってやつね
- いよいよ安全運行が運送事業者の表看板になってきたね
- 最近大きな事故が多発していて新聞でも事故の背景に触れた特集記事を掲載しているし、TVでも取り上げられるし、とわれわれも今まで以上に本腰をいれて安全問題に取り組まなきゃならなくなったね
- 年間の交通事故災害を経済的な視点でとらえると4兆円を越える規模だと見られているそうだよ
- 国民一人当たり3万円くらいになるね。減税規模なみだね
- 事故を無くす、減らすといことの意義はあるんだよね
- 認定制度がスタートする機会に改めて安全管理のプロセスが上手く機能しているかどうかチェックしてみることが必要だと思うよ
- ヒト、モノ、カネの面から見なければならぬじゃないの。投資として、コストとして考えないとね
- いろいろな要素が絡むから安全問題は、トップが先頭に立って取り組まないと成果につながりよ



✓ SRサポートセンター新設！！

データ・テックはこの度、SRサポートセンターを新設いたしました。

- ソフトの使い方がわからない
- セイフティレコーダが壊れたかも？

など皆さんの疑問、不安にお答えいたします。
サポート体制が万全になり導入がよりしやすくなりました。

お問い合わせは下記に

〒144-0052 東京都大田区蒲田 4 - 4 2 - 1 2

Tel 03-5703-7047 Fax 03-5703-7043

私たちが
サポートスタッフ
です。
よろしくおねがい
します！



伊藤です



熊切です



本多です



下記の展示会で当社の製品が展示されます



TEPIA 第15回展示

TEPIA (機械産業記念館) 1階

東京都港区北青山 2 - 8 - 4 4

2003/4/9 ~ 2003/7/25

平日 10:00 ~ 18:00 土・祝 10:00 ~ 17:00

日曜休館

財団法人機械産業事業団

<http://www.tepia.or.jp/15th/gaiyo.html>



EXPO COMM WIRELESS JAPAN 2003 (ワイヤレスジャパン 2003)

東京ビッグサイト 東1・2ホール

(Docomo様のブースで展示していただいております)

2003/7/16 ~ 2003/7/18

10:00 ~ 17:30 (最終日のみ 17:00 終了)



ロジスティックスIT関西2003

マイドームおおさか

大阪市中央区

2003/10/23 ~ 2003/10/24



中小企業テクノフェア2003

東京ビッグサイト東2・3ホール

東京都港区

2003/10/29 ~ 2003/10/29

<http://www.sme-tf.org/j/index.html>

お問合せ先

株式会社 データ・テック 担当 山田 美佳
Tel 03 (5703) 7041 E-mail sales@datatec.co.jp



編集後記

新聞社会面の大見出し記事の中に交通事故、違反にからむものが目に付く。高速道路での大きな事故が多発した先月はいうまでもないが、過積載で逮捕されたという記事も二段抜きで掲載されていた。記事の背景に企業の倫理観を問う姿勢がぷんぷんしている。事故災害の経済規模が年間4兆円超と知り、一つの産業規模だと感じ入るとともに、安全問題は、奥の深さからみて重大な経営課題で関係者の方々が日々努力されているのだと編集に従事しながら感じている次第である。